



岡田副総理のスリランカ訪問



平成24年5月
外務省南西アジア課

5月4日(金)から5月5日(土)にかけてスリランカを訪問。5月4日(金)にラージャパクサ大統領と会談、5月5日(土)に内戦で甚大な被害を受けた北部地域を訪問し、我が国NGO事業や円借款事業を視察。(我が国閣僚の訪問は2003年1月の川口外務大臣以来)

ジャフナ:
乾燥魚プロジェクトサイト視察
(JICA草の根技術協力案件)
ココナッツ苗畑センター
(ジャフナ緊急開発調査案件)

キリノッチ:
帰還民生計回復支援事業視察
(ジャパン・プラットフォーム)
アッカラヤンクラム貯水池視察
(円借款, 農村経済開発復興事業)

キャンディー: 仏歯寺参拝後、ラージャパクサ大統領と会談。国交樹立60周年を迎える二国間関係と国民和解実現に向けた取組につき意見交換。

コロンボ: バジル・ラージャパクサ経済開発大臣と会談。進出日系企業、我が国NGOの活動及び北部復興状況につき意見交換。

アッパーコトマレ: 「ラ」大統領と円借款事業「アッパーコトマレ水力発電所」の水門開放式に出席。2012年7月に完成予定。

1. 内戦後の国民和解に向けた働きかけ

- 岡田副総理より、ラージャパクサ大統領等に対し、真の国民和解実現のために「過去の教訓・和解委員会(LLRC)」による**勧告の早期実施**など具体的成果を挙げ、**国際社会の理解を得ることが重要である旨要請**。
- ラージャパクサ大統領より、**地雷除去(90%完了)**、**国内避難民の再定住(30万人の95%)**、**元兵士の社会復帰(1万4千人)**、**インフラ整備等**を中心に現在までの取組を説明。
- ラージャパクサ大統領より、期間を特定しLLRC勧告事項実施のための**大統領秘書官を長とする委員会**、**タミル、ムスリム政党を含む全政党が協議する国会選定委員会(PSC)**の立ち上げを表明。

* LLRC報告書: 2010年5月に「ス」政府が国民和解を進めるために設置。国内各地で公聴会を開き、2011年12月に、内戦末期の人権問題の調査、国民和解の促進、人権状況の改善などのための様々な勧告を含む最終報告書を国会に提出し公表。

2. 復興事業の視察等

- 岡田副総理は北部地域のキリノッチ県及びジャフナ県を訪問し、帰還民再定住や生計向上支援活動を視察し、帰還民とも意見交換を実施。
- バジル・ラージャパクサ経済開発大臣より、内戦で甚大な被害を受けた北部で活動する**我が国NGOの貢献への評価と同活動の継続的实施への期待が表明された**。

* 現在スリランカでは、約10団体の日系NGOがジャパン・プラットフォーム、NGO連携無償資金協力、JICA草の根技術協力の支援を得て活動している